

## 2025 年度 部局 FD 活動報告

獣医学部・研究科

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>GPC 成績一覧表を学部内で共有するとともに、講義内容と評価方法の改善に向け、教員会議において協議した。</li> <li>著名な研究者を招聘し、獣医学専攻教員のスキル向上のための集談会を実施した。</li> <li>若手教員が中心として主催した研究交流会「りんくう研究セッション」を実施した。</li> <li>卒業研究発表について、優秀学生の表彰を行った。</li> <li>卒業研究の実施について、研究室配属に向けて説明会を実施するとともに、研究室への訪問機会を設定した。</li> <li>現在移行中の新カリキュラムについて、授業内容や卒業研究の実施内容等の検討・改善を図った。</li> <li>医療面接実習のための事前および事後の振り返りに関わる研修を実施した。</li> <li>獣医臨床センターの教員ならびにスタッフに対して、飼い主様への対応を向上させるための研修を実施した。</li> <li>獣医臨床センターの教員ならびにスタッフに対して、臨床技術を向上させるための OMU-VMC セミナーを実施した</li> <li>獣医臨床センターの教員ならびにスタッフに対して、生命倫理と安全管理に関する研修を実施した。</li> </ul>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2026 年 1 月 7 日	獣医学コアカリ改訂に係る合同会議（対面）	18 名
2025 年 6 月 21 日、6 月 28 日、12 月 6 日、12 月 20 日、12 月 6 日	医療面接実習スーパーバイザー講習(医療面接実習を行う際のスーパーバイザーに関する研修)	15 名
2025 年 4 月 23 日	第 4 回りんくう研究セッション「伴侶動物と人獣共通感染症～薬剤耐性菌の話を中心に」安木真世（本学）	10 名
2025 年 5 月 28 日	第 5 回りんくう研究セッション「イメージング技術を用いた内分泌・代謝研究 Update：神経代謝学への展望を添えて」谷田任司（本学）	10 名
2025 年 7 月 18 日	第 6 回りんくう研究セッション「伴侶動物の多能性幹細胞研究：臨床応用までのロードマップ」塚本雅也（本学）	10 名
2025 年 9 月 16 日	第 7 回りんくう研究セッション「ウイルス探索から明らかにする新たな生命現象」岸本麻衣（本学）	10 名
2025 年 10 月 22 日	第 8 回りんくう研究セッション「肝疾患における細胞間相互作用の破綻」松原三佐子（本学）	10 名
2025 年 11 月 17 日	第 9 回りんくう研究セッション「腸管における超硫黄	10 名

	分子の役割解明に向けた研究～腸内細菌に対する遺伝子工学的手法を用いて～」西山和宏（本学）	
2026年1月7日	第10回りんくう研究セッション「カンピロバクター食中毒の制御と、カンピロバクターが産生する細胞膨化致死毒素に関する研究」畑中律敏（本学）	10名
2025年12月25日	獣医学専攻オープンセミナー/健康社会の実現に向けた腸内環境研究の最前線/國澤 純 先生/国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 副所長/センター長	10名
2025年7月7日	獣医学専攻国際オープンセミナー/Qijing Zhang, BVsc, MS, PhD/Veterinary Education in the U.S.: Past, Present and Future/Clarence Hartley Covault Distinguished Professor Dr. Roger and Marilyn Mahr Chair in One Health College of Veterinary Medicine, Iowa State University	15名
2025年10月20日	獣医学専攻国際オープンセミナー/The Study Program in Veterinary Medicine at Hasanuddin University: Nurturing Competent Veterinarians for Regional and Global Challenges/Dwi Kesuma Sari/Laboratory of Veterinary Pathology, Veterinary Medicine Study Program, Faculty of Medicine, Hasanuddin University	15名
2025年10月20日	獣医学専攻国際オープンセミナー/"Repeat Breeding in Cattle Under Smallholder Farming Systems: Risk Factors and Physiological Profiles"/Fika Yuliza Purba /Laboratory of Veterinary Reproduction, Veterinary Medicine Study Program, Faculty of Medicine, Universitas Hasanuddin	15名
2025年10月20日	獣医学専攻国際オープンセミナー/Styrene Toxicity in the Embryonic Development of Celebes Medaka (Oryzias celebensis, Weber 1894): An Assessment of the Plastic Monomer's Impact/Amelia Ramadhani Anshar/Laboratory of Veterinary Pharmacology and Toxicology, Veterinary Medicine Study Program, Faculty of Medicine, Hasanuddin University	15名
2025年10月20日	獣医学専攻国際オープンセミナー/Hasanuddin University Veterinary Teaching Hospital: The Integration of Clinical Services, Professional Education, and Animal Welfare Research/Andi Magfira Satya Apada/Laboratory of Veterinary Microbiology, Veterinary Medicine Study Program, Faculty of Medicine, Hasanuddin University	15名
2025年9月17日	1st Joint Research Retreat: Nara Women's University × Dept. Veterinary Anatomy, Osaka Metropolitan University @ Rinku Campus (奈良女子大学 高浪 景子 先生、公立大 谷田 任司)	12名
2025年5月30日	サイエンスカフェ/アメリカでの獣医幹細胞研究/木村 和人	33名

	先生/カリフォルニア大学デイビス校獣医学部研究員	
2025年5月30日	サイエンスカフェ/北米獣医解剖病理専門医取得への道とアメリカにおける病理症例紹介/佐々木 瑛美 先生/ルイジアナ州立大学獣医学部 Assistant Professor	33名
3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第1回(*月*日)～について」 「第2回…」と記載)	委員の人数
獣医学コアカリ改訂に係る合同会議	獣医学教育におけるコアカリの現状および将来構想に関する討議 2026年1月7日	18名
CBT運営委員会	第1回(2025年5月30日) CBTトライアルおよび本試験の実施行程および内容の検討 第2回(2025年12月5日) CBTトライアルおよび本試験の実施行程および内容の検討	7名
図書委員会	図書室の利用、蔵書、および管理運営について審議(第1回6月20日(金)、第2回10月1日(水))	6名
学部・学類運営委員会	カリキュラム、インターンシップ科目および授業実施方法などについて情報共有と検討を行った。	10名
4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組		
<ul style="list-style-type: none"> <li>卒研検討委員会(委員9名)にて、5月の獣医学演習と12月の卒業研究発表会の実施および学生の発表内容等について改善を図るために意見交換と討議を行った。さらにその検討内容を教員会議に報告し情報共有を行った。(1年間で、対面、Zoomおよびメール会議含め、十回程度の会議を実施)</li> <li>OSCE委員会(委員13名)では、2025年度のOSCE本試験の実施およびこれに向けた実習の改善と審査を担当する教員の訓練の実施等について、検討を行った。具体的には、主に委員長と4分野の責任者間でメールや電話連絡による打合せと情報共有を行った(1年間で数十回程度の打ち合わせを実施)。さらに、臨床基礎実習で、各分野の担当教員がOSCE試験の内容を確認・習熟し、理解を深めた上で学生教育を行った。また、これ以外にも、各試験分野の実施内容について分野責任者が全大学の責任者と直接やり取りし、委員会で情報共有を行った。</li> </ul>		
5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数[実数] (必ずご記入ください)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 ( 47 ) 人</li> <li>・所属内の専任教員の人数 ( 47 ) 人</li> </ul>		
6. その他、追記事項		
特になし		